



異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を出現した事例  
 \*：継続投与後に異常行動を含む精神神経症状を出現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否か (就寝中：○、 就寝中じゃない：×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復までの 時間	一般して 完全回復	体温	患者の記憶	経過観察 等の既往	経過観察 等の家族歴	光に対する 反応	薬剤による 「異常な行 動」の副作用	異常な行動に 関する既往歴	異常な行動の具体的な経緯 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたように言っているのか？)	継続投 与例
75	B05022780	8	年	男性	①激越 ②異常行動	2006/01/30 朝、20:30	2006/01/31 0:00、6:00	○	Yes	2.5時間後、 5時間後	12時間、6時 間	Yes	解熱過程	No	No	No	No	No	無	2006/1/30 インフルエンザAのためタミフル46.5mgx2/日投与開始。(20:30)2回 目のタミフル服用。39.5℃。(21:30)就寝。 2006/1/31 (0:00)急に大声でわめきながらおきる。父母が騒しかけても返事も せず。目を大きく見開き普通ではない状態。「行こう！行こう！行こう！」と大声で赤 いながらベッドや机、椅子の上に乗ったり走り回ったりする。父母が抱いてな だめでも「行くだよ！おいで！」と振り切つて家中を歩き回る。おき方も戻歩 きのように両手を大きく振って歩く。(0:15)やとなだめ水分を飲んでベッドに 寝かす。ウトウトする。(0:40)お腹が痛いと起き下ろす。39℃。先程起きた時 の事覚えていない。(1:00)ウトウトしては泣いて起きる。(8:00)「ごめんね、ごめん ね。…」と小さい子のようなかわいいうで言い続ける(普通のときの声ではな い)。(12:00)起床。昨夜の事覚えていない。ポ一としていいる。36.8℃。本剤服用 中止。 1/31、2/1 2日間とも夜から18~18時間連続した。 (12:00)二枚ベッドの上段で手を広げて立ち上がっている。ベッドから飛び降りて ベランダへ落ちていき、手すりにつかまって真ん中動作。意味不明の言葉をブツ ツと言う。何度か呼びかけると正気に戻る一途込む。(14:00)起きると再び激 越行動ありトイレに行くと出てトイレの中で尿失禁一途込む。(18:00)本剤服用。 起きると意識障害(+)、意味不明のことを言う。精神神経症状、尿失禁(非重 要)発現。	※
76	B05023443	8	年	男性	①異常行動 ②尿失禁	2005/12/21 10:00、18:00	2005/12/21 12:00、 14:00、18:00	○	Yes	-	Yes	Yes	解熱過程	No	-	-	-	No	不明	2006/2/1 (朝)から発熱。(午前)初期発熱。インフルエンザと診断。タミフル 処方。(11:00)タミフル内服。(21:00)本剤と解熱剤内服。(21:00)二こを 手で何かを抱もうとする。異常行動発現。(22:00)緊急車で来院。入院。JCS0- 1。瞼目を閉鎖する。(夜間)ベッド欄をのり越えようとしたり、意味不明な言葉を発 する事があった。 2006/2/2 (朝)意識清明。(日中)脳波、MRI一異常所見無し。 2006/2/3 異常行動軽快退院。外来で経過観察の予定。	※
77	B05025720	8	年	男性	異常行動	2006/2/1 21:00	2006/2/1 ①21:30 ②22:20 ③夜中	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2006/2/1 (朝)から発熱。(午前)初期発熱。インフルエンザと診断。タミフル 処方。(11:00)タミフル内服。(21:00)本剤と解熱剤内服。(21:00)二こを 手で何かを抱もうとする。異常行動発現。(22:00)緊急車で来院。入院。JCS0- 1。瞼目を閉鎖する。(夜間)ベッド欄をのり越えようとしたり、意味不明な言葉を発 する事があった。 2006/2/2 (朝)意識清明。(日中)脳波、MRI一異常所見無し。 2006/2/3 異常行動軽快退院。外来で経過観察の予定。	※
78	B05026722	8	年	女性	精神症状	2006/01/19 夕方	2006/01/19 深夜 発熱、夜間	-	No	-	数分~数分 十分	Yes	発熱持続	No	-	-	-	No	無	2006/1/19 発熱。39.8℃。腕、顔痛発症が認められた為インフルエンザ確定 診断実施。結果：Flu A、サンプル：鼻液 (夕方)本剤投与。(54mg/日)(深夜)40℃の発熱とともに2回有無をあげて起き 上がり室内を歩きまわった。中核神経症状発現。(非重 要)2006/1/20(夜)37.5℃前後の発熱と同様の症状がみられた。本剤は朝より投 与中止している。(夜)他院受診。シントレルを処方された。(夜間)うおを 言っていた。(体温不明) 2006/1/21(朝以降)中核神経症状はみられていない。39.5℃ 2006/1/23 来院時37.0℃。尿、鼻症状、顔痛あり。中核神経症状回復。 2006/1/25 来院時35.2℃。尿、鼻症状あり。インフルエンザ回復。	※
79	B07000086	8	年	女性	異常行動	2007/2/23 夜間 2007/2/24 夜間	2007/2/23 夜中3時間 後 2007/2/24 夜中	○	-	-	Yes	Yes	発熱持続	-	No	-	No	No	無	急に起き上がり「トイレ、トイレ」と叫び廊下を走り回るため押さえる(5~6分程 続)。後たまま眠るのわかないことを言うので、椅子を倒すと「さわるな」と言っ て暴れる。	※
80	B07000288	8	年	男性	異常行動	2007/3/31 18:00~19:00 7:30 2007/4/1 7:30	2007/3/31 23:00~ 7:00	○	Yes	-	30分	Yes	発熱持続	No	No	-	No	No	無	2007/3/30 咽頭痛、左肩の痛み、37.9℃の発熱、インフルエンザ迅速診断(-)、 2007/3/31 39.5℃の発熱、左肩の痛み増強。インフルエンザ迅速(+A)型。タミ フル42mg x 2/日処方。解熱剤処方無し。(18~19:00)タミフル1包42mg内服。 (23~24:00)部屋をうろちる歩き回る。急に水道びを始める。ふとんが重いと言 える。2階に走って駆け上がり、寝ていた父親の枕を取り上げる。2階より勢よく かけ降り、外に飛び出して行きそうになり、父親が押さえて止めた。この間 体温は38.5℃程度であった。行動異常(非重 要)発現。 2007/4/01 (0:30)就寝。(7:00)普通に覚醒して夜間のことを尋ねるも、覚えて いなかった。(7:30)本剤1包42mg内服して当院にお母さんが報告し来院。以後中 止するように指示。(9:00)行動異常回復。	※
81	B07001354	8	年	女性	異常行動	2007/3/21 18:00 2007/3/22 18:00 2007/3/23 18:00 2007/3/24 18:00 2007/3/25 18:00 2007/3/26 18:00	2007/3/21 23:00	-	No	-	20分	Yes	発熱持続 中 解熱過程	No	No	-	No	No	無	3月21日(夕)本剤服用開始。(23:00)異常行動発現。 3月22日(夜間)、顔マスクをはずして、点滴のラインをカチャカチャぶつけてい た。顔マスクとケースを床をぶんぶん叩きながら、声をかけると泣き返 た。その後、突然ベッドに立ち上がり、点滴を自己抜去。高熱あり、声をかけて も反応なし。手をベッドにぶつける。本剤投与。(23:00)解熱傾向であったが、再 びベッドの上に立ち上がる行動があった。 3月26日(朝)本剤投与。異常行動回復。	※
82	B07003582	8	年	女性	異常行動	2007/4/22 14:00	2007/4/22 15:00	-	No	-	No	No	発熱持続	-	No	-	-	No	無	2007/04/22(10:00)インフルエンザA型と診断。(14:00)本剤内服。(15:00)突 然2階に走っていき、部屋をうろちる。ずっとウトウトしていた(寝朝まで)。 (21:00)本剤内服。夜間、犬を呼ぶ動作、物を食べる動作、家の中を徘徊、手を 何回も洗う、母のことをお前さんと呼ぶ、尿失禁などがみられた。 2007/04/23(6:00)40℃の発熱。朝からポ一としており呼びかけへの反応も乏 しい状態が続いたため、当院外来受診。精密検査目的に入院。脳波上、全般性の 徐波を認め、MRI所見なし。脳液所見もなかった。 2007/04/24意識清明となり経過良好。(9:00)37.0℃	※
83	B07013003	8	年	男性	異常行動	2007/2/24 朝 2007/2/25 朝 2007/2/26 朝	2007/2/24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2007/2/24 (夕)A型インフルエンザ治療の為、本剤75mg x 1/日の投与。発症 時に認められた自他覚所見：発熱40.2℃、その他(腰痛)。本剤服用後、異常行 動発現。ベッドからとびおろす。廊下を走りまわる。大声でわらう。意味不明の事 を言う。体温：40.2℃。 2007/2/25 本剤(75mg x 2/日)投与。体温：37.4℃。異常行動回復。 2007/02/26 インフルエンザの軽快	※

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発生した事例  
 ※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発生しなかった事例

No	課別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中心、 就寝中心がな い：×)	異常な 行動に発現 した	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復までの 時間	一過して 完全回復	体温	異常の経過	睡眠覚醒症 候等の既往	睡眠覚醒症 候等の家族歴	光に対する 反応	聴覚による 異常行動 の副作用 使用歴	異常な行動に 関する既往歴	異常な行動の具体的な経過 (例：幻覚については具体的に何が起きたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたように言っているのか？)	継続投 与例
84	B07013253	8	年	男性	異常行動	2006/1/27 2006/1/27 2006/1/28 2006/1/28 2006/1/29 2006/1/29 2006/1/30 2006/1/30	2006/1/29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2006/1/27 インフルエンザに対して、本剤の投与を開始。 2006/1/29 内服後2時から階段へ飛び出す異常行動が発現。特別な処置はなし。本剤の投与を中止。 2006/1/31 異常行動は回復。	
85	B07013258	8	年	男性	異常行動	2007/1/28 2007/1/28 2007/1/30 2007/1/31 2007/2/1	2007/1/29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2007/1/28 夜間 40℃の発熱があり、当施設に運ばれる。A型インフルエンザと診断され、本剤2日分を処方。1回服用後に嘔吐。 2007/1/29 2回服用後 5~10分の間、騒ぐ。その後、ベランダへ出て行った(マンションの10階層)。母親が部屋に連れ戻した後、続いてトイレへ駆け込み、大声を上げる。異常行動(非重篤)発現。本人は意識の回復なし。その後、寝かしつけ、異常行動は回復。その後、他施設に来院。本剤を3日分処方され服用を継続したが、異常なし。 2007/2/1 本剤内服終了。	*
86	B07013304	8	年	男性	意識レベルの低下	2007/3/18 2007/3/18 2007/3/19 2007/3/19 2007/3/20 2007/3/20 2007/3/21 2007/3/21 2007/3/22 2007/3/22	2007/3/18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2007/3/18 本剤投与開始(〜3月22日)。意識障害が発現。自宅の外に出る。意識障害は回復。	*
87	B07013310	8	年	女性	異常行動	2007/3/20 2007/3/21 2007/3/22	2007/3/20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2007/3/20 本剤1回投与。投与約2時間後、理由もなく外に飛び出そうとする。異常行動(非重篤)発現。家族が止め大車には至らなかった。 2007/3/22 異常行動回復。発熱もなくなった為本剤の投与を中止した。	*
88	B07013355	8	年	女性	異常行動	2007/2/20 2007/2/21 2007/2/21 2007/2/22	2007/2/21	○	-	-	10分	Yes	解熱過程	No	No	No	No	No	No	2007/2/19 発熱、頭痛、頭痛、嘔吐がある。 2007/2/20 発熱。朝より38.0℃の発熱。検査にてインフルエンザA型と判定。本剤49.5mg×2/日、コカール0.65g/回頓服、アミノジン5ml、アスワート9ml、メグロセリン7.5ml/日処方。本剤49.5mg/日投与。 2007/2/21 (15:00)家で1人子供が急に大声を出して親に命を叫ぶ様子でしゃべりだし、走り出して暴れた。異常行動(非重篤)発現。5分後位でおさまるも本人はまた寝ていた。(15:30)異常行動回復。その後そのことについて本人に聞くもまったく覚えていない。 2007/2/22 本剤49.5mg×2/日投与。 2007/3/7 (悪)発熱。夜中には38.5℃-39.5℃。突然わきのわからない事を大声で叫び、走り出し、兄に襲いかかった。また何かが見えると幻覚症状を訴える。身体を震わせて混乱した様子だった。異常行動(非重篤)発現。 2007/3/8 発熱。インフルエンザB型と判定。前回と同じ薬を母親が希望。本剤投与いかんにかかわらず、同様の症状出現。 不明 異常行動回復。	*
89	B07013400	8	年	男性	異常行動	2007/3/5 2007/3/6 2007/3/6 2007/3/7	2007/3/6	x	-	4hr	2時間	Yes	解熱過程	-	No	No	No	No	無	2007/3/5 インフルエンザB型治療のため、本剤投与開始(45mg×2/日)。 2007/3/7 (21:00)38.4℃の発熱があり、本剤45mg内服(8回目)後、入眠した。 2007/3/6 (1:00)ぶつぶつとつぶやきながら歩いていた。母が気がつく。引き戸のロックを外してベランダを出ようとしていた。母が声をかけると止まった。その時点で体温38.8℃と解熱していた。話をするうちに泣き出した。「右手に刺、左手に盾」等と言っていた。「投している物が部屋の中になかったので、ベランダにあると思い、ベランダに出ようとした」と言っていた。異常行動(非重篤)発現。(3:00)次第に落ち着いて入眠した。異常行動回復。 2007/3/6(朝)起床時は異常なかった。本人は前日のことをかなり記憶していた。意見はマンション7Fに居住していた。インフルエンザ軽快。	
90	B07020468	8	年	女性	異常行動	2007/11/29 2007/11/30 2008/11/30	2007/11/29	○	Yes	5時間	-	Yes	解熱過程	No	No	-	No	No	無	2007/11/28(午後) 39℃の発熱、鼻汁、痰等の症状にて来院し、インフルエンザキットにてA型インフルエンザと診断。(17:00)1回目の本剤内服。その後寝ていた(22:00頃)睡中に突然起き上がり、部屋のドアを叩きながら「おかしな感じがする」と言った。 2007/11/30(10時) ぶんぶんと言いきり、ニヤニヤしていた。母親が「大丈夫？」と声をかけたら「うん」と言った。(朝) いつも通りで、体温37.1℃。特に変化なし。医学的処置をせずに自然軽快。	*
91	B07020986	8	年		異常行動	2007/12/11	夕	2007/12/12	1:00頃	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2007/12/11 診察時に眠るの分らないことを言っていた。 夕方に本剤を1回服用後、夜中1時頃に走り出した。 その時に親が呼ばれて、止められた。	
92	B07021970	8	年	女性	異常行動 幻覚	2007/12/11	朝	2007/12/11 (午前)	○	Yes	1時間	-	解熱過程	-	-	-	-	-	No	2007/12/10 朝がインフルエンザA型加重中とのこと。起床時37.8℃発熱ありとのこと。午前9時過ぎ来院。迅速検査で陰性だったが、臨床所見よりインフルエンザを疑う。 以前、本剤内服歴あり。家人が希望したため、本剤処方。終日発熱は37℃台で、本剤は内服させなかったとのこと。併用薬の内服。 2007/12/11 起床時、40℃にて本剤内服。併用薬も内服。その後入眠。(1時前後)時が経てで寝られなくなり起きながら「自分よりでる(自分並み)」と叫ぶ。家人が落ち着くよう話し、すぐ寝着く。電話連絡あり。本剤の内服中止を指示する。 2007/12/12 電話にて、以後の異常行動のないことを確認する。	

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例  
\*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経系症状を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中：○、 就寝中じやな い：×)	発熱 有無 (発熱 あり：○、 なし：×)	就寝中の場 合、就寝時 前からの発熱 までの時間	回復までの 時間	一服して 完全回復	体温	発熱の経過	聴覚覚醒症 等の既往	聴覚覚醒症 等の家族歴	光に対する 反応	聴覚による 「異常な行 動」の既往 有無	異常な行動に 関する既往歴	異常な行動の 具体的な詳細 (例：幻覚については異常行動が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見たように感じたのか？)	継続投 与後
93	B02002847	9	年	男性	聴覚	2002/2/26 12:00	2002/2/26 13:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(川崎病) 投与開始前日 インフルエンザB型感染症。 投与開始当日 10:00頃 当院にてインフルエンザ迅速検査でB型と診断され る。12:00頃 タミフル75mg/日、ムコダイン、アストミンを内服。13:00頃 意味不 明の発語や行動をとり始めた。この時発熱なし。15:00-16:00頃 回復し、正常状 態となった。本人にこの時の記憶なし。以後、タミフルの内服は中止。ムコダ イン、アストミンは投与継続(一投与4日目) 意味不明の発語や行動をとり始めた。この時の記憶なし。	
94	B03005858	9	年	男性	①意識レベルの低下 ②無感情 ③異常行動	2003/3/14 2003/3/15 2003/3/16 1日2回 1日2回 1日1回	2003/3/16	-	-	No	No	No	発熱中から 解熱後も神 経	-	No	-	No	No	2003/3/10 発熱、咳、頭痛あり、A病院受診。上気道炎と診断され、フロモク クス、ダゼンを処方された。 2003/3/14 発熱持続し、同院再診。インフルエンザ迅速キットでは陰性。臨床 的にインフルエンザと診断し、タミフル150mg及びフルタゾール処方。 2003/3/16 退熱しない、活動性低下などの変化を認めた。タミフルはこの頃服 用中止。 2003/3/17 同院再診。ソルデム1点滴中、突然意味不明の発音や行動が見ら れた。 2003/3/18 同様の症状あり、他院紹介となる。小児科入院の上、頭部CT、髄 液検査、脳波施行するも明らかな異常認めず。上気道炎に対する治療のみを 行い経過観察としたが、同日も異常行動あり、活気乏しかった。 2003/3/20 徐々に活気改善。異常行動も認めず。 2003/3/21 退院。 2003/3/25 外来受診時特に異常なし。		
95	B05000151	9	年	男性	①幻覚 ②不穏	2005/3/7 2005/3/7 11:00 21:00	2005/3/7 23:00	-	No	-	3.5時間	Yes	解熱過程	-	-	-	-	Yes	有	2005/3/6 インフルエンザB型感染症発症。 2005/3/7 インフルエンザB型と診断。(11:00)タミフル服用。(21:00)タミフル 服用。(23:00)「おかし」「ふとんをかぶると肌かムムムニする」歩き回り、バ ニク状態となる。「砂がみえる」「窓に老人がみえる」 2005/03/08(2:30)自宅から他院へ救急車にて搬送。受診時は意識清明。体 温38.8℃。本剤投与中止。(3:00)回復。当院小児科外来再受診。37.8℃。意識 清明。理学所見上の異常は認めない。本日より薬剤内服すべて中止。 2005/3/11 わずかの無症状のみで路治療。	
98	B05021185	9	年	女性	聴覚	2005/12/15 18:00	2005/12/15 20:30、23:00	○	Yes	-	30分	Yes	解熱過程	No	No	No	-	No	無	(20:30)覚醒し、意味不明なことを話し始め、部屋の中を走り回り出した(その時 のことは本人は覚えていない)。発熱なし。せん妄状態持続時間：15~30分母親 が抱きかかると回復。(23:00)落ち着き入眠するが、再度眠らないうちに言葉 が発現し、再度母親が抱きかかると回復。せん妄状態持続時間：15~30分	
97	B05024835	9	年	男性	①聴覚 ②凝固第Ⅶ因子量 減少	2008/02/06 12:15	2008/02/06 14:15 17:15 2008/02/08 21:51 2008/02/07 1:25 2008/02/07 1:33 2008/02/07 4:12 2008/02/07 6:50 2008/02/08 0:21	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	No	-	10分	Yes	発熱持続	No	-	-	-	No	熱性痙攣 2008/2/5 (夕方)発熱あり。 2008/2/6 (10:00)当科初診。インフルエンザA型と診断。熱性痙攣の既往有 り。本剤を処方。(帰宅後)12:50タミフル60mg1回分を内服し、居間で寝た。 (14:15)突然起き上がり、ベッドを降り、一口口に、拭いたけ、両 手をさし上げ「こわいこわいと震って騒ぎ出した。立ち上がり、走り出そう感じ があり、大人4人で押さえた。せん妄発現。10分位で落ち着いたが、その後 当科再来。(15:00)再来時には意識清明となったが、念のため入院とした。以 降、せん妄発現まで就寝せず。(17:15)話しかけても会話が成立しない。せん妄 発現。(21:51)変な事を言う、視線が合わず会話が不成立、手足をばたばたさせ る。尿失禁。せん妄発現。GT実施：異常なし。臨床検査値上、フィブリノゲン 285、FDP1.9、D-ダイマー-0.3、PIVKA-II 31mAU/μL、凝固系第Ⅶ因子99%、第 Ⅶ因子65%、第Ⅹ因子92%第Ⅷ因子の減少を認めた。時刻は不明であるが、 就寝。 2008/2/7 (12:5)急に座位になる。口を「ちやくちやくさせる。『うーん、うーん』と書 い、目は開けているが視線を合わせない。立ったが足元からふらつく。ボータ ルトレイで用をたし、「こわい、こわい」「はずかしい、はずかしい」と言う。せん妄 発現。(13:3)左の口角を上げ開眼して「うーん、うーん」と言う。せん妄発現。 (4:12)急に起き上がったが話しかけてもまぶたく無視。尿失禁。せん妄発現。(6:00) 急に起き上がり、言葉が産道でない。ボータルトレイにて便をする。せん妄発 現。(正午過ぎ)体温37.0℃台となる。本剤中止し、シスダイン250mg×3回/日、ヒ ベンズ酸デビジン20mg×3回/日へ変更し投与開始(〜2/13)。MRI実施：異常 なし。時刻は不明であるが、就寝。 2008/2/8 (0:21)排泄する時に2分くらい「ぼーっ」としていた。計7回せん妄発現 したが、いずれも自然軽快した。 1回当たりの持続時間：2~10分間。体温38.0℃台。脳波検査実施：異常なし 2008/2/9 正午頃より再び発熱し、39.4℃まで上昇。 2008/2/10 完全に解熱。 2008/2/11 インフルエンザ回復。(11:00)せん妄回復し、退院。第Ⅶ因子の減 少回復。トロンボ、ヘパラチンなども回復していることより、一過性の減少と 考えられる。		
98	B05024837	9	年	男性	幻覚	2008/2/4 ①10:30 ②21:00	2008/2/4 ①11:30 ②22:00	-	-	-	5-6分	Yes	発熱持続	No	No	No	-	Yes	無	2008/2/4 (9:30)発熱：38.8℃。頭痛、倦怠感を認める。インフルエンザA型と診 断。(10:30)タミフル(49.5mg)服用し部屋で安静臥床させた後母親が買物に外 出。(11:30)患児が玄関から外出しているのを発見し、自宅内に連れ戻された が室内を歩きながらグルグル廻る。ガラス戸をたたく症状が10分間認められ た。発熱、発汗症状のみみられたので寝替えさせて患児の兄が声をかけたら症 状がスーッと消失し普通に戻る。(21:00)タミフル2回目服用(49.5mg)。(22:00)「ウ ー」と発熱し起き上がった。5分間位で症状は消失。 2008/2/6 インフルエンザ軽快・回復。	*
99	B05025884	9	年	女性	異常行動	2008/1/28 昼前	2008/1/28 4時間後	-	No	-	30分	-	発熱持続	-	No	No	-	No	無	2008/1/28 発熱、咳を主訴に来院。インフルエンザA型と診断。タミフルドラ インシロップ1.8g×2回/日処方。昼前、本剤内服。(15:00頃)体温39.0℃。(約4時 前後)部屋の中を急にウロウロ歩き回るという異常行動発現。その後、安静に 落ち着き就寝できた。同日再診し、経過を確認。本剤投与中止、水分補給、 安静を指示した。 2008/1/27 (午前)異常行動回復。インフルエンザも回復。	

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を現した事例  
\*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経系症状を現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中○、 就寝中じゃない×)	覚醒直 後に発現 した	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一服りして 完全回復	体温	患者の記憶	睡眠覚醒症 等の既往	光に対する 反応	他剤による 異常な行 動の既往	異常な行動に 関する既往	異常な行動の具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が起きたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたように言っているのか？)	継続投 与例			
100	B00025100	9	年	男性	異常行動	2007/2/2	夜	2007/2/2	夜中	○	-	-	8時間	No	発熱持続	-	No	No	No	No	2007/2/2 当院来院。39℃の発熱、頭痛を訴える。(夜)インフルエンザ(A)の タミフル30mg×1/回投与。(深夜)入眠中の異常行動発現(起床後、起き上がら うとしたり、意味不明な話をしている。本人は覚えていない。その後、本剤は処方 せず。他院(救急外来)受診。入院。リレンザ服用(特に問題なし)		
101	B07000097	9	年	男性	幻覚	2007/3/25	6:00 17:00	2007/3/25	24:00	○	Yes	2時間	約8時間	No	発熱持続	-	No	No	No	No	2007/3/25 (5:00)発熱38.8℃あり。咳あり。(7:00)キットにてインフルエンザAと 判明。タミフル1/2cap(37.5mg)内服。タミフル投与方法：カプセル内のパウダーを ムコゲインと混合し1/2量内服した(1回分)。(17:00)タミフル1/2cap(37.5mg)内 服。38.4℃。(21:00)就寝。(23:00)突然起き上がり黒いものが降ってくるから逃げ ると言い出し、部屋から飛び出ようとする。幻覚発現。 2007/3/26 (0:00)水分摂取させ落ち着かせるが、1時間の間に数回起き上がり 逃げようとする。37.9℃。(1:00)再度起き上がり大丈夫だと誤解するも、黒い大きな ものが部屋に落ちてくる。寝てくるから外に出ないといけぬ、逃げないとい けないと再度外へ飛び出そうとすることを制止し寝かした。その後数回、合計 数十回同様の行動があった。(7:00頃)消失し就寝した。(10:00頃)覚醒し、夢で あったと自覚。異常行動については記憶がないと。38.8℃。(11:00)解熱し落ち着 いており、ほぼ正常化した。幻覚回復。 2007/3/28 インフルエンザ軽快・回復。		
102	B07000198	9	年	男性	譫妄	2007/3/11	20:30	2007/3/11	21:00	○	-	30分	3時間	No	-	-	-	-	-	-	2007/3/11 (19:00)38.8℃。(20:30)タミフル40mg内服し就寝。(21:00頃)その後、 突然覚醒し「手に怪獣がいる」と発言。再び入眠したが、次に目を覚ました時 「行かないや」と言って玄関に向かって行った。 2007/3/12 (0:00)救急車を要請し、救急車が到着した頃はほぼ普通に眠って いた。37.3℃。(0:25)自家用車にて来院。来院時意識清明。		
103	B07000282	9	年	女性	異常行動	2007/3/30	12:30	2007/3/30	13:00	○	Yes	30分	5分	Yes	-	No	No	No	No	No	3月30日 12:30近医でインフルエンザと診断。自宅でタミフルを内服。その後入 眠。(13:00)「ワッ」という声に気づき、ベランダの方へ走るのを見た。力づくで止 めようとするが、行くと叫びながらベランダを目指す。何とかトイレに逃げ込む が「出て行け」と叫びながらベランダへ走りこんでいた。その間、目がすわ つたような顔をしていた。5分くらいで意識を取り戻したように、普通の会話が出来 るようになった。近医で受診後、搬送された。16:00 搬送時、意識は清明。		
104	B07012129	9	年	男性	異常行動 幻視	2007/4/19 2007/4/18	朝 夕	①2007/4/20 ②2007/4/20	①7:50 ②11:50	①Yes ②No	Yes/No	-	-	-	①発熱持 続 ②解熱過 程	Yes	No	No	No	No	2007/2/19 インフルエンザA型と診断。 2007/4/20 (7:00)突然ワーと発声しながら部屋の中を走り回る。包丁を持った 男の人が追いかけてくるという幻視。意識清明で、後にこの時の記憶あり。 (11:00)祖母が買い物から戻ると、庭の隅でかかんで、上記と同様の幻視で 睡っていたとのこと。(13:00)他院に緊急入院(本剤内服を中止)。その後、幻 視、異常行動はなし。 2007/4/23 インフルエンザ回復。		
105	B07013252	9	年	男性	異常行動	2007/3/9 2007/3/10 2007/3/10 2007/3/11 2007/3/11 2007/3/12		2007/3/9		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2007/3/9 本剤投与開始。異常行動が発現。服用約3時間後に、窓を開け飛び 出そうとした。家人がとめたので事なきを得た。患者に「どうしたの？」と聞くと、 「魚釣りに行く」と答えた。 2007/3/10 異常行動は回復。本剤投与継続(～3月12日)。この間、異常行動 は認められなかった。	*	
106	B07013257	9	年	女性	異常行動	2007/3/30	夕	2007/3/30		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2007/3/30 インフルエンザに対して、本剤42.45mg内服。異常行動発現(非重 篤)。寝ていたが30分ほどして起きて外へ飛び出そうとした。一旦落ち着いた が、再びパジャマをズリズリに破るくらい驚いたため、病院へ搬送。その後、 すぐに他の病棟に搬送された(経緯は不明)。体力を消耗した様子ではあった が、その後回復。		
107	B07013259	9	年	女性	激越	2007/2/27 2007/2/27 2007/2/28 2007/2/28 2007/3/1 2007/3/1 2007/3/2 2007/3/2	昼 18:00	2007/2/27	20:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2007/2/27 インフルエンザA型の診断で、翌に本剤服用。夕方、19時に本剤2 回目服用。このときの体温39.5℃。横になってテレビを見ていて服用から1時間 が経過したころ、「怖い」と言って部屋を飛び出し、父親がやっと抑えることが できた。3分で落ち着いた。その後も本剤服用を継続(～3月2日)するも問題なし。 2007/3/2 異常行動は回復。	*	
108	B07013313	9	年	男性	異常行動	2007/3/17 2007/3/18 2007/3/19	10:00 8:00 8:00	2007/3/17	20:00	○	-	-	1時間	-	Yes	発熱持続	No	No	No	-	No	2007/3/17 (10:00)倦怠感、発熱38.8℃にて来院。インフルエンザA型と診断。 本剤75mgの投与を開始(なお、パングールはインフルエンザ検査を外注して いたために処方)。(19:00)コタツで寝ていた。(20:00)突然に暑い暑いとい いながら窓を開けて部屋の外に飛び出した。母親が帰るよう言っても、なかなか帰って 来ず外でぼーぼーとしていた。母親はふざけていると思いついた。寒いから窓を 閉めるよと言ったら、とぼとぼ帰ってきた。しばらくして解熱した。 2007/3/18 翌朝に前夜のことを覚えていなかった。(8:00)本剤75mg服用。継続 したものの異常は認められなかった。 2007/3/19 (8:00)本剤75mg服用。 2007/3/20 (10:00)体温37.1℃	*

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経症状を出現した事例  
\*：継続投与後に異常行動を含む精神神経症状を出現しなかった事例

No	識別番号	年齢 性別	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否か (就寝中○、 就寝中じゃない×)	発熱直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 間から発現 までの時間	回復までの 時間	一服して 完全回復	体温	患者の記憶	継続投与症 等の既往	継続投与症 等の家族歴	光に対する 反応	薬剤による 「異常な行 動」の副作用 用薬	異常な行動に 関する既往症	異常な行動の 具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたように言っているのか？)	継続投 与例	
109	B07013323	9	年	女性	異常行動	2007/2/27 2007/2/27	朝夕	2007/2/27	23:30	○	-	2:30	3:30	No	-	No	No	No	No	2007/2/27 キットを実施したが陰性、臨床診断(39°Cの発熱)で、インフルエンザと判断し本剤処方。(朝)本剤投与開始。(45mg×2/日)。(23:30)夕食後、本剤45mg2回服用。就寝後、23時30分頃、急に目を閉じて立ち上がる。母親は横で寝ていた。そして「リリはここにはいられない、外に行きなさい」と言って玄関から外に出ようとしたが母親が抱きかかえて止め、再び寝た。異常行動(非重篤)発現。(1~2時間)また起き上がり「学校に行きなさい」と言って窓のカーテンを開けた。再び母親が抱きかかえ止め、そして寝た。(更に1時間)再び起き上がり「学校に行く」と言って起き上がった。熱は38.5°C。母親はニュースを見て、本剤の副作用を知っていたので次の日は服用させなかった。 2007/2/28 (9:00)異常行動回復 2007/3/1 インフルエンザ軽快・回復。	無	
110	B07013330	9	年	男性	異常行動	2007/3/12	夕	2007/3/13	2:30	○	-	-	-	Yes	発熱持続	No	No	No	No	2007/3/12 インフルエンザA型治療のため、本剤投与開始。(30mg/日) 2007/3/13 (2:30)突然一人で起きだして、玄関から外に出て、1メートル以上の高さまで外に走り出した。異常行動(非重篤)発現。異常行動回復。本人は全く覚えていない。	無	
111	B07013375	9	年	男性	記憶障害 異常行動	2007/3/28	夕方	2007/3/28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2007/3/27 発熱(38°C台)咳嗽、鼻水、食欲減少。 2007/3/28 (午前中)本院来院。インフルエンザ簡易キットにてインフルエンザA型診断。(夕方)1回目の本剤75mg服用。服用後数時間後、自宅庭を徘徊しているのを家族が発見する。記憶障害(非重篤)発現。(夜間)前声を発する。異常行動(非重篤)発現。 2007/3/29 回復した。回復後、本人へ、前日夕方よりの行動についての記憶がなかったとコメントした。 本剤は1回のみ75mg服用し、その後は中止。	無		
112	B07013396	9	年	女性	異常行動	2007/2/5 2007/2/5 2007/2/6 2007/2/6 2007/2/7 2007/2/7 2007/2/8 2007/2/8 2007/2/9 2007/2/9	12:00過ぎ 夕 夕 夕 夕 夕 夕 夕 夕 夕	2007/2/5	14:00	×	-	-	-	-	-	-	-	-	2007/2/5 (12:00過ぎ)インフルエンザA型治療のため、本剤54mg×2/日投与開始。発症時自他覚所見：発熱38°C(07/2/4)。咳、消化器症状(嘔吐、下痢)。(14:00頃)本剤初回服用後、2時間くらいして、目つきが変なやつ、しきりに外に出ようとした。何か訳のわからないことを言ったりした。多量の発汗があった。異常行動(非重篤)発現。 2007/2/6 異常行動回復。 2007/2/7 (~2/9)残りの本剤をすべて服用するも同様の症状の出現なし。	※		
113	B07015225	9	年	男性	睡眠時驚悸	2007/2/28 2007/2/28	発現直前日の 夕方と他に1 回	2007/2/27	5:00	○	Yes	-	数時間	No	解熱過程	No	-	-	No	2007/02/28 インフルエンザB型治療のため、本剤投与開始。(75mg×2/日) 2007/02/27 (5:00)起床時、突然意味不明の事を叫び出し、階下より3Fまで走って上り、悪夢に怯えるような状態が30分~1時間持続。夜驚(睡眠時驚悸)発現。回復。この時発汗(非重篤)や顔面紅潮(非重篤)を伴っていた。この時の事を本人は記憶しておらず、救急車で小児科受診し、受診時の事は憶えている。 2007/03/02 (18:00)夕方から寝ていたところ、衝動的に重畳、まとまらぬ言動あり小児科受診。夜驚(睡眠時驚悸)非重篤)発現。(21:00)突然「怖い」と言い出すも、父に抱かれない。何か訳のわからないことを言ったりした。 2007/03/05 以上のエピソードが短時間有り。(1:30)睡眠中、中途覚醒し「怖い」と訴え、「悪夢を見た」と自覚。悪夢(非重篤)発現。 2007/03/06、07、11、12、14、15、17 同上のエピソードが短時間有り。悪夢、夢を伴う事多し。 2007/03/27 この日を最後に夜驚(睡眠時驚悸)・悪夢は見られなくなった。軽快。 2007/04/08 発汗・顔面紅潮、軽快。 2007/05/25 上記各所見、診察時には軽快している事を確認した。 2008/01/15 (朝)来院し、インフルエンザAと判定。本剤39mg×2/日処方。(午前)38.5°C。帰宅後本剤服用し、2階にて就寝(悪夢)をしてしたが、母親が気がついたときに1階をうろついていた(急に2Fから1Fに降りた)。母親がどうしてうろついているのか手探いで扉を開けると寝ていたので、1階に降りた記憶が無いとの事。この時点では本剤服用中止せず。寝ているときも寝る音が多く床から向かい両手を強んに動かしていた。異常行動(非重篤)発現。 2008/01/18 就寝中寝言や、手を払いのける行動あり。再診時は異常な様子は見られなかった。 2008/01/18 (午前)38.8°C。異常行動(非重篤)回復。インフルエンザ軽快。 2008/01/19 本剤投与終了。	No	
114	B07023327	9	年	女性	異常行動	2007/10/15 2007/10/15 2007/10/18 2007/10/18 2007/10/17 2007/10/17 2007/10/17 2007/10/18 2007/10/18	午前 午後 午前 午後 午前 午後 午前 午後 午後	2008/1/15 2008/1/16	-	○	-	-	-	Yes	不明	No	No	-	No	-		
115	B07023858	9	年	女性	異常行動 異常行動	2008/1/28 2008/1/28 2008/1/27 2008/1/27 2008/1/28 2008/1/28 2008/1/29 2008/1/29 2008/1/30 2008/1/30	17:50 21:00 8:00 16:00	2008/1/28 2008/1/27	20:50 15:30	-	-	-	5分 3分	Yes	発熱持続中	No	Yes	No	No	睡眠時驚悸		
116	B07028154	9	年	男性	異常行動	2008/2/3	19:30	2008/2/3	22:30	○	Yes	2時間	30分	Yes	-	-	-	-	No	2008/02/03 (19:30)A型インフルエンザの診断にて、本剤57mg内服。(20:30)就寝。(22:30)突然寝言など目覚めを繰り返した。(23:00)親が取り押さえて眠りについた。その後、異常行動回復。	※	
117	B04008522	10	年	男性	意識障害状態	2004/2/2	12:00	2004/2/2	15:00	○	Yes 1時間後	3	(救命セン ターに搬送)	-	発熱持続 (ケガ認識)	No (ケガ認識)	No	No	-	No	2004/02/02 インフルエンザA型と診断。(12:00頃)昼食後、本剤(75mg/日)等内服し、解熱剤を服用し、就寝。 2004/02/02 (15:00頃)意識障害→スラングから(マンション8F)飛び降りる。外傷等により病院救命センターへ搬送される。	無

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例  
\*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症状を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否か (就寝中○、 就寝中しな い×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	一回りして 完全回復	体温	患者の記憶	睡眠覚醒症 等の既往	睡眠覚醒症 等の家族歴	光に対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の既往 有無	異常な行動に 関する既往歴	異常な行動の具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたように言っているのか？)	継続投 与例	
118	B05023465	10	年	男性	①熱性痙攣 ②異常行動	2006/1/19 12:30	2006/1/19 13:35	-	No	-	30分	Yes	発熱持続	-	-	-	-	無	2006/1/18 (14:00)38℃台の発熱、痙攣出現。 2006/1/19 インフルエンザA型と診断。(12:30)タミフル投与開始(105mg/日)。(13:35)廊下に立ち「布団が熱くなった」と言って布団を持ち上げた後、急に外に向かって走って出て行くとした。異常行動発現。約30分持続。(14:00)当院受診。入院。入院後は異常行動出現せず。 2006/1/20 (9:00)解熱し痙攣と変わらない程に回復。本剤中止。異常行動回復。 2006/1/21 インフルエンザ回復。 2006/1/31 退院。		
119	B05024270	10	年	女性	①情動障害 ②退行行動	2006/01/27 1/29~1/28 1/30	2006/01/29 2006/2/3	-	-	-	No	No	解熱後	-	-	-	-	無	2006/1/26 インフルエンザA発症。夜、38.8℃の発熱。 2006/1/27 インフルエンザA型と診断。タミフル投与開始。1/27:夕(57mg/日)1/28~1/29:朝(57mg×2/日)1/30:朝(57mg/日) 2006/1/28 解熱。36℃台。痙攣・咽頭痛はあったので内服薬継続。 2006/1/29 情緒障害、行動異常発現。機嫌が悪く、突然泣いたり、テレビを急に消したり、母親と手をつなぎながら「ママ」と呼ぶ。母の姿が見えないと言えず。多動あり。問いかけに回答せず。ボーンとしている。車を怖がる。入浴みを怖がる。眠っていることが多い。 2006/1/30 A医院受診し、本剤投与中止。咽頭痛および痙攣のためクラリスリンD、アストマム、ムコソール心を含む。(18:00)当院受診。母親の薬量管理を指導し、1~2日様子を見るよう指示し帰宅させた。 2006/1/31 A医院再診。インフルエンザ軽快。日病歴紹介となる。外来にて頭部CT、血液検査施行。異常なし。本人の症状は軽快傾向にあるが、基本的には不変。 2006/2/1 経過観察のためC病院入院。MRI施行。異常なし。35.8℃。(12時頃) 2006/2/3 外泊へ。この頃より正常の状態と不安の強い状態が交互になる。 2006/2/6 外泊より帰院。軽快傾向にあるため退院とした。 2006/2/8 ほぼ正常の状態のみになる。 2006/2/10 外来受診。軽快とした。(情緒障害、退行現象回復)		
120	B05024606	10	年	男性	異常行動	2006/01/16~ 1/17	2006/01/16 2006/01/17	○	Yes	5時間	10分	No	発熱持続	Yes	Yes	No	No	無	2006/1/16 インフルエンザA型と診断。朝、夕、タミフル内服。(20:00)就寝(1:00)。夜間に「学校へ行くといいランドセルを背負い外出しようとした。異常行動発現。 2006/1/17 (11:00~12:00)悪夢を見て怖いといい外出しようとして泣いて叫んだ。朝、夕、タミフル内服。 2006/1/18 前日夕方まで内服し投与中止とした。 2006/1/20 中止後39℃以上の熱が下がりがり症状回復。異常行動回復。 ①(8/8)24:00から8/9 1:00にかけて「天井が落ちて来る。たつきが来る。お母さん怖い」と言って起き出した。側にいた母が大丈夫だとたどたどし落ち着いた。(朝)せん妄回復。本剤内服するも異常なし。 ②(9/9)夜)本剤内服後、就寝。夜間に急に起き出して悪夢(詳細不明)があった。(9/10朝)せん妄回復。本剤内服するも異常なし。以降本剤内服するも症状再現なしとのこと。	※	
121	B08010808	10	年	男性	①痙攣 ②痙攣	①2006/8/8 ②2006/8/9~ 8/12 ③2006/8/13	①2006/8/8 ②2006/8/8 ③24:00 ④夜間	○ ○ ○	No	①4hr ②-	1分	Yes	-	No	No	-	No	No	無	①(8/8)24:00から8/9 1:00にかけて「天井が落ちて来る。たつきが来る。お母さん怖い」と言って起き出した。側にいた母が大丈夫だとたどたどし落ち着いた。(朝)せん妄回復。本剤内服するも異常なし。 ②(9/9)夜)本剤内服後、就寝。夜間に急に起き出して悪夢(詳細不明)があった。(9/10朝)せん妄回復。本剤内服するも異常なし。以降本剤内服するも症状再現なしとのこと。	※
122	B07000188	10	年	女性	異常行動	2007/3/18 2007/3/17	2007/3/17 10:00	-	-	-	-	-	発熱持続	Yes	-	-	-	不明	2007/3/16 インフルエンザA型と確定診断。(夕方)タミフル75mg内服。症状なし。 2007/03/17 (8:00)本剤75mg内服。(10:00)体が熱い症状訴える。その後母親が目を覚めた際に一人で靴を履き玄関を出ようとした。患児の姉が気づき止めた為、大事には至らなかった。本人は覚えていないとの事。症状が出たときは熱が39.4℃ほどであった。その後母親が気づいた。(12:00)腫脹より家庭。意識清明。母親が後で聞いてみると「体が熱く感じた」と、玄関でスニーカーを履こうとしたことなどは覚えていなかったと。本剤投与中止。		
123	B07002856	10	年	男性	①幻覚 ②異常行動	2005/1/22 2005/2/28	2005/2/28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	調査不可能	(服用2時間後)異常行動。幻覚発現(量感度不明)。寝ていたが、突っ起きて走り出した。「どうしてかわからないが、突いたくなかったし、走りたくなかった」と本人が説明		
124	B07012021	10	年	男性	痙攣 痙攣発作状態	2006/1/31	2006/1/31 23:00	○	Yes	-	-	Yes	-	No	-	-	-	無	2006/1/31 (23:00)夜中、トイレに起きたとき、興奮状態となり飛び出そうとした。両親の顔が分からなかった。 2006/2/01 意識清明となった。		
125	B07012054	10	年	男性	異常行動	2007/3/20	2007/3/20 16:00	○	Yes	-	-	Yes	発熱持続	Yes	-	-	-	睡眠覚醒 睡眠時遊行 症	2007/03/20 インフルエンザB型と診断[所見:発熱 38℃、頭痛、咳、鼻症状(鼻水、鼻づまり、くしゃみ)、タミフルドライシロップ80mg服用。(18:00)保護者が不在であったが、着替えたときは睡眠中だった。ボーンと寝ていて不安になり、怖い人がきたと思っマンション7階のベランダから下をのぞき、その後、換足で階下の友達の家に行き、そこで保護された。 (17:00)来院時、体温 38.4℃。意識清明。(23:00)睡眠中起きだして、「外へ出たい」と言い、ベランダの方へ行き、カーテンを開けて出ようとした。家人が阻止すると、「裏が見たい。弟が下にいる」と言って、玄関の方へ行って外へ出ようとする。20分くらいで落ち着いてきたが、「しんとしていた怖い」と言い、本を挟んだり、テレビを見たりして、10分くらい寝てしまった。 2007/03/22 インフルエンザ回復。		
126	B07013136	10	年	男性	異常行動	2007/2/24 2007/2/24	2007/2/25 4:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2007/2/24 インフルエンザに対して、本剤57mg/回を投与開始。翌、夜に服用。 2007/2/25 (4:00)着換している部屋を階下において玄関から外に出ようとして、セロムが反応したため外に飛び出すことはなかった。		